

# 中根小の自然

第 12 号 2008 年 7 月 28 日

< 学校北～東通学路で見かけた植物～その 3 > 樹木に続いて今度は草本類の紹介です。  
夏休みに入ってしまったので、簡単に…。



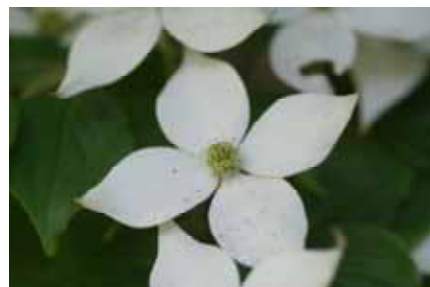
## ヒメジヨオン(キク科)

北アメリカ原産の帰化植物。外側が白く中が黄色い花がいくつがついているように見えますが、実は白い花びらのような「舌状花」と黄色い「管状花」がたくさん集まって「頭状花序」と呼ばれるかたまりをつくっています。同じキク科のタンポポなどは黄色い舌状花の集まりです。綿毛をフツと吹くとフワフワとたくさん飛んでいきますね。あの一一つが果実なのです。



## ノボロギク(キク科)

ヨーロッパ原産の帰化植物。こちらは黄色い管状花が集まって頭状花序をつくります。



ヤマボウシの花序と総苞

**ドクダミ(ドクダミ科)** 4枚の白い花弁のように見えるのは葉の変形した「<sup>そうほう</sup>総苞」と呼ばれるもので、その上の軸に淡黄色の穂を成して着いている小さい一つ一つが本当の花です。雄しべと雌しべだけで花弁やガクはありません。これと似ているのが、警察署の通りにずらっとたくさん植えられているヤマボウシ。ドクダミと近い仲間ではありませんが、これも4枚の白いのは総苞で、本当の花はその真ん中に25個前後が頭状に集まってついています。いつも何気なく見ているものでも、虫メガネなどでじっくり観察してみると意外なことが分かって面白かったりします。



その他左から、

ヒロハヒルガオ(ヒルガオ科)

クサノオウ(ケシ科)

ヨウシュヤマゴボウ(ヤマゴボ

ウ科) 北米原産の帰化植物

[ 理科支援員 宮内 ]